


⑦



北川橋次

冬合宿 

'73 金沢大学ワインター・ジョーグル部

昭和48年度 冬合宿

◦ 期日： 12月25日～12月31日(予備1日)

◦ 山域： 奥三方山付近

◦ 形式： ラッシュ方式

(数パーティによる同一日程
アタック(ワンデリング)は全員で行なう)

◦ 日程：

12/25日 金沢 — 7:00 内尾 — 8:00 959付近 Δ_1

26日 Δ_1 — 口三方岳 — 1200付近 Δ_2
アタック全パーティ集合

27日 Δ_2 — 中三方岳 — 1353付近 Δ_3

28日 $\Delta_{3,4}$ ← → 奥三方山

29日 Δ_4 — 口三方 付近 Δ_5

30日 Δ_5 — 1959P. — 内尾 — 金沢

P-R 10-11時

C1:

07619-2-0961

農研

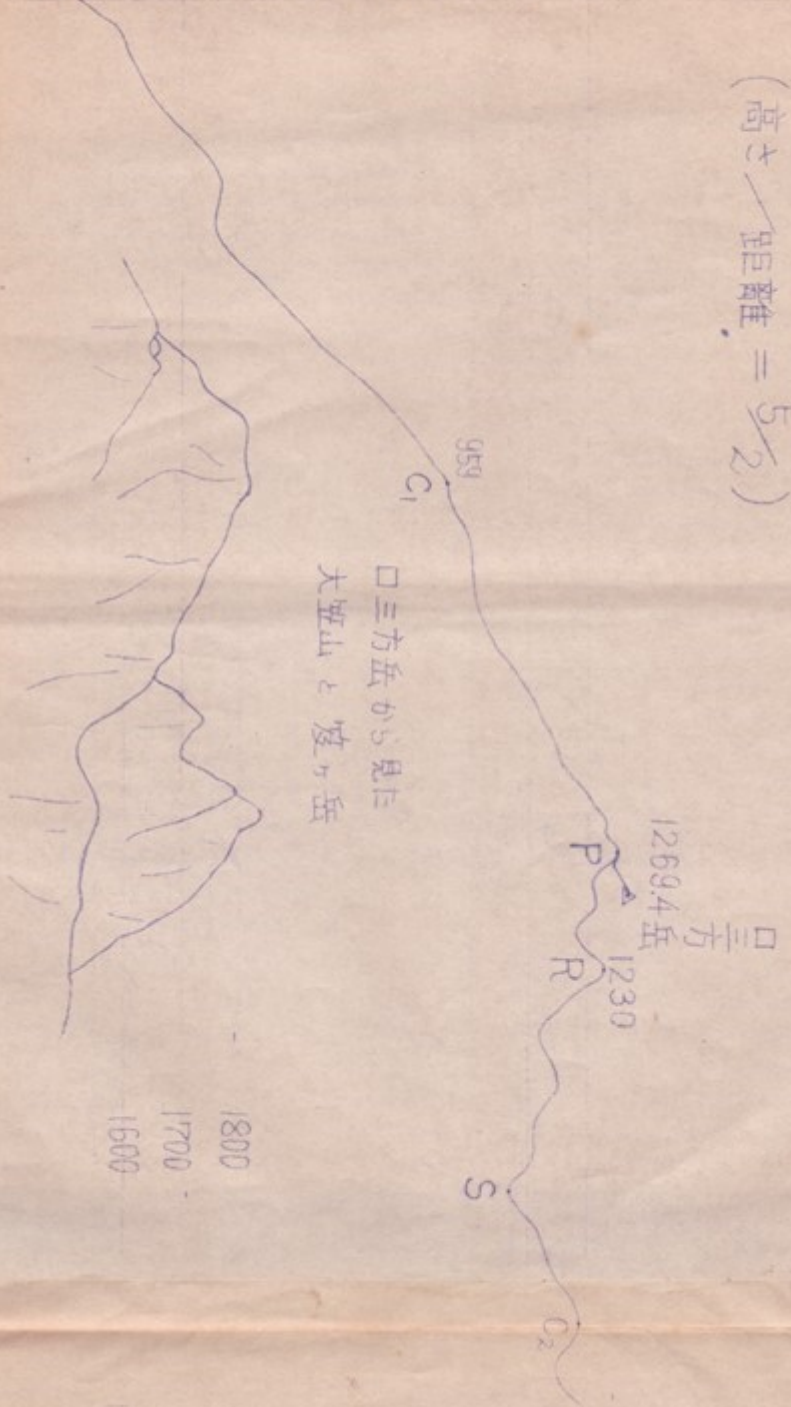
冬合宿コース又概念図



冬合宿コース断面図

(高さ/距離 = 5/2)

1250
1100
1000
900
800
700
600
500
尾登り口



1800
1700
1600

二重三方山

1000 1500 2000 2500

空

Y

X

1053
北山

1325.9
夕方山
C₃

1306
中三山
T

C₂

S

1450

1350

1250

夕方山の付道 加東至高三山

夕方山の付道 加東至高三山

1800
1700
1600

Member

◎ A・中野淳一 (S-3) 全沢市長町 3-2-25 北山方 H-0279
連絡先 A → 徳島県坂井郡坂井町長尾 19-2
0776-66-3335

◎ 吉田勉司 (理-2) 材木町 12-39
A 名古屋市中区岸町 3-33
052-782-0147

渡辺和文 (工-2) 小立野 3-27-31 若竹寮
A 愛知県西春日井郡西枇杷島町下新町 2
052-502-0477

桜井尚美 (蒙-1) 泉ヶ丘 2丁目 15-27 44-684
O

井上茂良 (工-1) 森山 2-23-10 小倉方 52-3464
B 岡山市津島東4丁目 10-43
0862-53-1714

藤森忠夫 (工-1) 室町 6-13 瑞雲寺島西方 21-7714
O 滋賀県東浅井郡ひわ町 19-138
074972-2510

B・清水重仁 (I-3) 小立野 1-2-3 藤岡方 21-7898
B 滋賀県東浅井郡浅井町三田 930
074971-4-1288

◎ 清水啓紀 (I-3) ミツコ新町 1-10-20 31-6696
A

大塚慎一 (法-2) 弥生 1-26-5 北瀬 43-5767
O 大分県中津市大塚町 74
0979-22-6361

吉岡由良子 (藝-1) 泉野 2-13-1 白梅 41-6777

○ 福井市東郷二丁目 4-11

0776-41-0323

津島直也 (工-1) 石引 1-13-17 小川方 62-9828

○ 香川県坂出市野上町 2-1-16

08774-6-2063

坂井尚登 (医-1) 小立野 3-3-12 後川方 63-4246

B 富山県中新川郡上市町 4

07647-2-0351

C 小林健一 (法-3) 橋場町 13-13 笠間方 61-0558

A 福井市福町 26-49

0776-36-2591

○ 北川隆次 (工-3) 東山 3-3-17 52-4431

B

○ 長田正文 (法-2) 宝舞 2-9-3

B 東京都町田市金森 316

0427-22-2380

山田和子 (業-2) 本多町 1-14-9 角田方 62-1798

B 兵庫県城崎郡白高町久斗 901

07964-2-2132

橋山功 (法-1) 金沢市吉原町 172 58-0855

A

田辺隆一 (医-1) 榛山町 1-20 松尾方 63-8076

○ 富山県婦負郡婦中町富崎 1726

07646-6-2576

岩本正雄 () 城南 1-5-6 甲村方 61-9083

埼玉県大宮市本郷町 17

公園住宅 125号 0786-04-

D. 金森 廣 (工-3) 金市町 = 61 52-1803

B

○ 井上 毎明 (工-3) 野町 2-15-11 武田町 41-4040

○

松江市中興町1182 0762-75-1075

○ 松岡 倉創 (工-2) 小立野 3-13-8 = 浦方 61-7449

A

三重県一志郡三雲村善原 1404

0598-56-2096

小間 八郎 (工-2) 小立野 3-27-31 若竹峯

A

鳳至郡門前町和田 3-88

0764-2-0046

浜 健子 (医-1) 片町 1-9-5 木材 61-9872

A

福井市御幸 1-16-23

0776-23-6469

堤 善朋 (工-1) 宝町 3-1 昔糠方 62-9698

○

滋賀県東浅井郡浅井町南郷

074974-2711

村池 伸一 (工-1) 三池町 58 52-1777

B (RH-)

E. 川端 俊朗 (法-3) 金沢市高尾 2丁目13 47-0419

B

○ 山内 政司 (工-3) 杉町 3-9-10 浅野方 63-1805

AB

福井県勝山市鹿谷町杉保 9-13

0774-8-3911

川村 高弘 (工-2) 山上町 44-5 木材方 52-6681

A

浜松市柴町 77


0534-52-2574

4
横井 恒雄 (法-1) 東山 3-4-17 小坂方 52-5074
B 愛知県 瀬戸市 美栄通 5-3
0561-82-3673

七間一誠 (T-1) 弥生 1-26-5 北澤 43-5157
A 倉山市 四方田岩瀬 170
0764-35-0789

川西 喜代美 (蒙-1) 箕野 2-24-8 広橋方 61-0813
富山県 滑川市 荒俣 276
0764-75-1211





冬山洋合宿 食糧計画

	朝	昼	一行	夕	M
12/25 NOEL		食パン 4個 レタス 1/1 ベーコン 100g マヨネーズ 1/2本 ソース 1袋	ドロップ 1/2 フルヤート 1 レモン 1 甘納豆 1 サブレ 1	<カレーライス> シヤカマ 2 人参 1 玉ネギ 1 肉 200g カレー粉 適量	紅茶 菓子 1
12/26	<味噌汁> 味噌 150g ネギ 3 納豆 3 しきり 1	食パン 4個 サラミ 1 マヨネーズ 1/2 紅茶	ドロップ 1/2 チーズ 6 ようかん 1 クッキー 2 みかん 6	<寄せ鍋> 豚肉 200g 白菜 1/2 人参 1 ネギ 3 汁 (1.5リットル) 昆布	コシコシ / アベ川
12/27	<ビショビショ> サバカン 1 ミソ 100g ネギ 2 人参 1 0.8分	クシパン 6 ウインナ 6 紅茶 シヤム 1	サブレ 1 レーズン 1 ドロップ 1/2 クリン糖 1/2 マヨネーズ 1	<インキキアメン> クリームチーズ チーズ 1/2 人参 200g シヤカマ 2 14パン 4	紅茶 菓子 1 米 5合
12/28	<お茶漬> お茶漬 6 ウサビ 1 漬物 1 イカの塩辛 1/2	パンのミニ 4個 ソーセージ 大3 ソース シヤム 1	ウナトセツ 6 クリン糖 1/2 ドロップ 1/2 梅干し 1/1 ビスケット	<アタタ> 豚肉 200g ジャガイモ 1 玉ネギ 2 人参 1 たまご 150g	パンコロン 紅茶
12/29	14パン 6 ペミカン ブレン 6	14パン 6 ウナト 6 ママレード 1 紅茶	ドロップ 1/2 レモン 1 ピーナツ 1 サブレ 2 チョコレート 1	<ニセ親子丼> ネアネギ 3 1730の肉 1 タマネギ 1 シヤカマ 1	おしる粉 (インスタント)
12/30	<雑炊> 白米 100g ネギ 2 シヤカマ フレク 1	クッキー 大3 みかん 6 紅茶	ドロップ 1/2 クッキー 1 レモン 1 イカ 1 サブレ 1	<煮物> みしや 1 市野豆腐 1 干しいれ 1/2 切干 1 落し 1	紅茶 菓子 1
12/31 年	焼ソバ 9 ソーセージ 2 クールスト 1	14パン 6 シヤム 1 ソース	ドロップ 1 ウナト 6 サブレ 1 甘納豆 1		

米 1.2
夜 1.8
米は1100gの和性にする
14合

冬山個人装備



● 服装	● 一般携帯品
<ul style="list-style-type: none"> ○ 上着 + 予備 / ○ キルティング ○ セーター ○ スパボン + 予備 / ○ 下着上下 + 予備 / ○ スパボン下 (507用) ○ 帽子 (目出帽 etc) ○ ウンドヤッケ ○ 手袋 + 予備 / ○ ソックス + 予備 2 ○ ニッカーホース + 予備 2 ○ マフラーのスカーフ  	<ul style="list-style-type: none"> ○ キスリング ○ ビヤケルのストック ○ ミュラフ ○ 毛布 ○ ポンチョ ○ カサ ○ エアーマット ○ 懐中電燈 ○ 風呂敷 ○ 時計 ○ 地図 (口直巻, 西赤尾) ○ 磁石 ○ 武器 ○ 細引 ○ 峠子 ○ 算子 2 ○ ジャパン ○ 新聞紙 (8日分) ○ マッパ (多めに) ○ タオル + 予備 2 ○ 筆記用具 ○ 身分証明書 ○ 健康保険証 
<p>8:30 16:10 17:20</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 足元 etc. ○ 山靴 ○ オーバーシューズ ○ ロングスパッツ ○ オーバーミトン (ひじまでのも) ○ わかん ○ ビヤケルのサンダラス 	<ul style="list-style-type: none"> ● その他 ○ ムアックリーム ○ 目薬 ○ ローション (日焼け止め) ○ 常備薬 ○ 救急道具
<ul style="list-style-type: none"> ● 予備 etc. ○ 靴ひも ○ 保革油 ○ 固型メタ ○ 電池 ○ 豆電球 ○ 非常食 (多めに) ○ ビニール袋 	

4ヶ月前

トックリ
アヤ子

4ヶ月前

米 7 合
タバコ 金

団体整備

ウィンロー一式

A隊 NO2 D隊 NO1
B隊 NO4 E隊 NO5
C隊 NO3

(本体
ポール)

グラブシート 1
木パフ 大4 小4
背負子 1
ナタ 1
小ナベ 3
ゴッヘル 1
ブス 大3 小1
小物 (宮島 1 ちま 2
たし 1 包丁 2
ペヤ 3 雪ファン 2
水じょうじ 1)

スリースユフ 1

食器 14 (D隊は16)
ガソリン 9l (D隊 10.5l) <250x6x72>
メタ 500ml
ローソク 8本
医療箱 1
ラジオ 1
T.P. 9
ブス修理員 1
フライヤ 1
漁獲計

全体整備

竹ざお 20本 + α
赤布 20cm x 2m

行機部員 増田富雄 諸江町上2-1 清田方 63-1053
 石田忠篤 天神町2-1-16 宮口方 61-1927
 上馬康生 郷所町五28 向田方 52-6945
 宇野潔 三ツ山新町1-155 備後方 61-2689
 奥名正啓 小畑町3-11-23 中田方 61-1303
 坂尾忠秀 宝町6-13 島田方 21-7714
 高村栄一 平和町2-28-65 43-5241
 竹内哲雄 晩町1-29
 向所新一 小立野1-9-5 田中 31-0944
 西村節子 打木町西152 49-2045
 清家雅幸 小立野3-4-40 六観館

07615-5-066

内尾待機 龜田 石川原能美郡福土町字坂の150
 恵比寿 橋場町7-1 庄方 31-2366

連絡先

英 俊彦 金沢市泉野4丁目1-22
 Tel. 44-5222

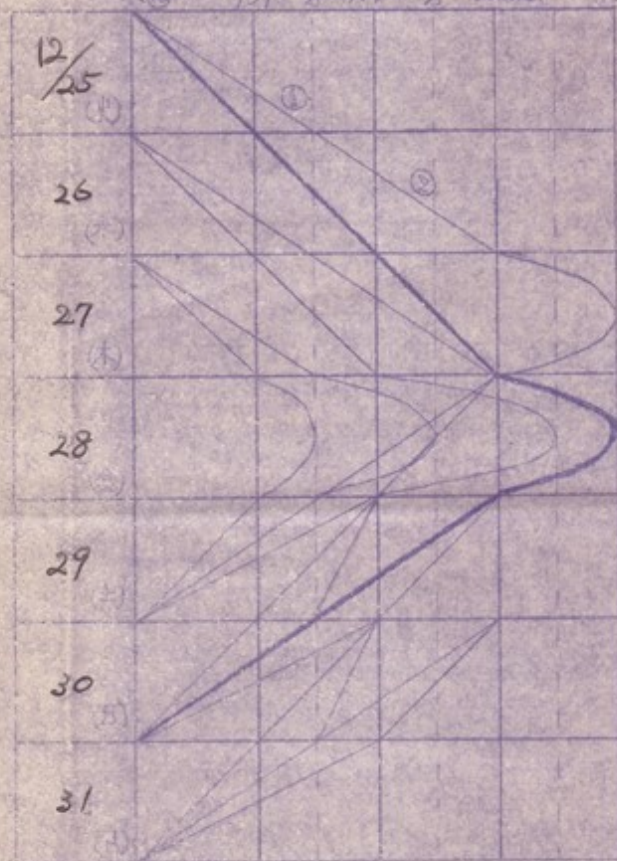
学主部 62-4281 (大代)

緊急時連絡経路 現地



冬合宿 沉澱対策

金
 沢
 C₁ 957
 口
 三
 方
 C₂ 1170
 中
 三
 方
 C₃ 90
 Y
 AP
 奥三方



① 95% 12月25日EHC10

② 1170m11時

アタックは12月25日
 朝比呂校通過時

下船時間、最大は11時
 すぎ

奥三方の花は
 12/25下り

$F = 2000 //$

基礎知識

ワカンとラッセル

何故ワカンをばくか — 身体が雪に沈まないようにするためにはあるが、膝ぐらいの雪で一気に深さにか沈まないために、沈みが暴走し、呼吸リズムが整いゑるまですい。

はき方のコツ — 短いひきどゆるまないように、すべらないように締める。しかし、乗場（のりば）の危険があるのを、足を余りまわくしない。行動中はほどほどと泣けてくる。

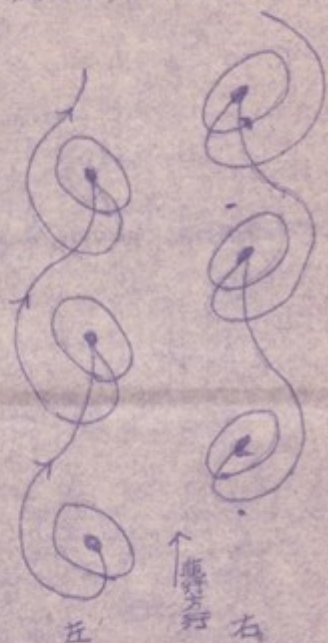
歩き方 — 図のように後から外側へまわしてがニマタ歩きとなる。自分の足で自分のワカンをふきまないように気をつける。リズム、カールに雪にそと押さえる気持がある。後足を歩行前に抜くゴツがぶきかしく、浴槽は抜き易く、山側は抜きにくいのでトランスの時は下り気味の方が歩き易い。カニの横ばい式は抜きやすい。抜き方のコツは膝から下を後ろへける様に雪から抜き、それを外側から押さえるように斜め前へはこぶ。硬雪では斜面にフラットにワカンをあきゑるよくさせろ。（どちらかに傾くとぬかせが難い。）

登り — 急斜面ほど開きを大きくせぬばならない。非常に急になると、直登が難いほうが登り易い。急な直登では膝がらたん雪をぶささるからそこにワカンをあせぬく。

下り — スキーのように膝を使い重心が水平線と垂直になるようにする。かかとからおろすと滑って足をとられる。なお、斜面が急なほどゴツは雪崩の原因となるので直登、直降を原則とする。急な下りではラッセルを活用する。

一鏡のラッセルについて — 本格的な探検ではストックを併用し、ゴツの大きいほど効果的。後鏡者は（ワカンの使用の有無にかかわらず）トリアップの作ったヌツアップを忠実に忠告。

ワカンの手入れ — 靴とワカンには必ず油をぬり履の付着を防止



○ ウィンダブロー（ミード型）の設営

※ テント設営地に注意 —— 一般に雪庇の下の斜面は風が強いが危険!! 雪崩の危険を一番重視する。

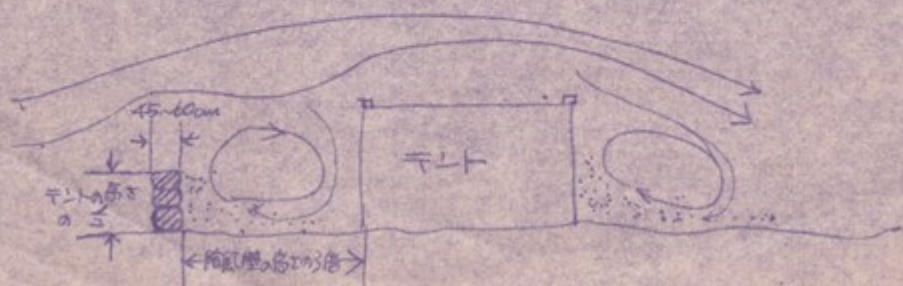
● 雪庇の下の斜面は雪の吹きだまりで、しる吹きとばされた雪粒の角がまろくなっているために、積った雪は、安定せずふりふりと流れるが、形を保っている。この状態は雪庇の崩落などのショックで、雪崩れる危険性をいっちはらうている。

風の弱い場所はややせむるとこのような状況が多いから、注意がいる。屋根の風干ごよほど安定な斜面がなからたら風上側にとる方がよい。

※ 設営地の整備 —— 雪をよく踏みのため、後斜をなくし、森林帯などからの小枝や葉を厚くしきめ、ビニールシートをしく。

※ 設営 —— 入口を風下に向け、棟を風と平行にする。強風を考慮に入れると、風圧力は脊骨に集中するので、脊を風上側へ量は、テントを浮かさないようにすくらの注意が必要。支柱の支束はテントの高さの1.5~2.0倍の位置にホウ40°の用きをもて引きさる。(風の抵抗力(水平方向)に対しては安全をテントから離す方が、抵抗力(垂直方向)に対してはテントに近い方が強い。) ポールを雪の上の上にしかに置くと撤収時に凍って抜けなくなる。

※ 防風壁 —— 強風対策の最良の方法であり、雪をブロックにして風上側に積む。風をけり考えるとテントの高さの2/3または高mをかきいり、吹出する雪のふり巨利の大きさを考え、テントの高さの1/2の幅はテントより小さくす。テントと防風壁の間隔は防風壁の高さの3倍。厚さは、一番下で45cm以上。強風で60cm。又壁の抵抗力も2/2年所形につむ。



ブロックは大きさをそろえてすまをなくする前に、スコップよりノコギリで切る方がよい。壁はテントを張、た後につくる方が後で壁を削。て張綱をはるに配がない。

除雪——防風壁の風上側をいつも垂直にしておく。テントの雪は下の方が多とけると上の雪も落ちる。テントに接するところの雪はテントをいためないように手でどける。一般に風土かどをける方が除雪中にまた埋。てしま。うこと。が多い。そして、雪を風下側へ入。す。て。る。

暮営——テントに入る際に雪を落とすのに龜の子タワシが有効。木エブスは板の上で使う。水が重。た。か。り。大。切。に。し。し。又。水。を。作。る。時。フ。ワ。フ。ワ。の。雪。よ。り。も。ブ。ロ。ッ。ク。の。方。が。速。け。や。す。く。さ。ら。に。水。を。か。け。ま。や。る。と。速。い。だ。か。ら。多。量。の。水。が。火。曜。の。時。は。大。小。の。つ。の。ナ。や。で。雪。を。と。か。し。小。さ。い。方。で。で。き。た。水。を。大。き。い。ほ。う。に。引。け。る。よ。う。に。す。る。テ。ン。ト。内。で。は。バ。ン。ド。を。ゆる。め。て。お。く。と。胃。の。調。子。が。よ。い。ローソクは、ローソク立てを。く。る。と。便。利。(図参照)就寝の時、シュラフの上にビニールシートもフutonの様にかけると暖かい。テントの上部にロープをわたし、ぬれた手袋、靴下、帽子などを掛けて乾かすとよいが、寝る時はシュラフに入れないと翌朝凍。て。使。い。も。の。に。な。ら。な。く。な。る。靴も同様。



撤収——入口をしめて内部をあたたためてから行なう(乗るとたたみこいたため。)張綱は末端から切す。て。る。場。合。も。あ。る。風。に。と。は。こ。れ。な。い。様。に。速。や。か。に。行。う。

その他——布地に対して、スコップによる破損、ローソク、タバコ火などの穴は裂ける原因となるので作らないように、注意する。支柱の中央にもはり綱をつけると、風に対する強度は4倍になる。(下図)



まとめ。(暮営の留意点)——雪崩、積雪による埋没、破損による破損と、とはされること。